

2022年度あかしSDGsパートナーズ実績報告書

様式 3

No. 20 株式会社 サーテック永田

記入日 2023年(令和5年)4月10日

1. 2030年までに達成したいこと	自然環境対策を念頭におき、廃棄物削減と新技術開発・実用化を行いながら社会の発展に貢献する。	3. 関連するゴール	1 貧困	2 気候変動	3 健康と福祉	4 質の高い教育	5 ジェンダー平等	6 安全な水とトイレ	7 再生可能エネルギー	8 働きがい	9 産業とイノベーション
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2. 取組の概要	(1) 輸送梱包に使用するストレッチフィルム(樹脂)を再利用可能な内容に変更し、廃棄物の削減を行う。(2) めっき・表面処理の洗浄工程で用いる水道水の節水を推進する。(3) 企業・大学と協力し、新しい製品の創生と新たな価値づくりに挑戦する。	3. 関連するゴール	10 人や国ごとの平等	11 持続可能な都市とコミュニティ	12 つくばない減らす	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正な社会を	17 パートナーシップで目標を達成しよう	SDGs
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4. 主な取組の達成状況							
No.	取組内容	①目標値		②当初値	③実績値		達成度
		2030年度	2020年度	2022年度	2023年度		
(1)	・ストレッチフィルム(樹脂)から荷締めベルトやナイロン袋等、再利用可能な内容に変更した。	ストレッチフィルム(樹脂)使用量削減	108 本	216 本	160 本		52%
			2030年度	2020年度	2022年度	2023年度	
(2)	・排水・廃棄の管理をしっかり行う。 ・表面処理時の水道量調整など削減の徹底をした。	水道水使用量削減	75.6 m ³	84 m ³	103 m ³		-226%
			2030年度	2020年度	2022年度	2023年度	
(3)	・樹脂と異種材料と接着(接合)による新技術開発の実用化	実用化率増大	30 %増	0 %	0 %		0%
			2030年度	2020年度	2022年度	2023年度	

5. 取組結果	(1)お客様へ再利用可能な輸送梱包に変更することにより、川上から川下への横展開が期待できる取組みとなっている。 (2)社員1人1人が、水道水の節水に心がけ限りある資源の効果的削減を目指している。 (3)樹脂と異種材料と接着(接合)による新技術開発の実用化を目指し、大手工場メーカー5社へプレゼンテーションを行った。	問合せ先	団体名：株式会社 サーテック永田 担当課：営業業務部 電話：078-922-0080 メール：eigy@surtech.co.jp 担当者：川島
---------	---	------	--

6. 今後の課題と取組	(1)お客様要望により輸送梱包の変更対応不可の場合が発生しており、2021年度に比べ下げ止まりとなっている。改善案を提案し、推進する。 (2)浴槽の補修等により使用量が増加。今後も突発的な事例により増加する懸念があるが引き続き全社員で節水に心がける。 (3)引き続き「産学官の連携」を強化させながら技術のブラッシュアップを図る。	連携希望	樹脂と異種材料と接着(接合)によるマルチマテリアルな新技術開発の実用化について、共同で実用化可能な企業ならびに団体、企業の連携を希望する。
-------------	--	------	---